昭和25年7月6日第三種郵便物認可

磐城毎日新聞

昭和25年(1950) 10月14日（土曜日）第122号【日刊・月曜休刊】

磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市南町
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長 强口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・二六二・一〇三四番

いまもある女工哀史

平勞基署證人調べ開始

埼玉縣川口市上青木町五丁目土屋紡績株式會社にからむ勞基法被疑事件につき同地檢では社長土屋亥之助、事務同土屋高明の両名を逮捕、七日から檢事拘留で取調べを行つているが平勞基署では埼玉縣勞働基準局長からの照會で同工場の勞務に堪えかねて逃げ歸つた內郷町內町前田千葉多惠子（一八）同新田義子（一八）同大崎好美（一八）同君島信子（二二）の四名から事情聽取している、これによると同女達は廿三年四月元同工場に勤務したことのあゝ新田美子さんの紹介で平職安に就職紹介方を依賴したが計どらないので直接文書連絡をしたところ同工場事務書記土屋が來町、職安に正規の手續なし就職した、就職斡旋の時の話では同工場に於ては戰前と異り設備も良く宿舍には各部屋ごとミシンを備付け洋裁も敎えるしお花も敎えるし給料も月三千円は下らないと言う條件で「お金を貰いながら勉強出來る」との甘言に就職した所、現地は話とは反對に何の設備もなく「お花」や「洋裁」どころか二十疊の部屋に十五人の雜居で三度の食事は少量の上皮のむかない藷やうどん粉の入つた食事で次の食事がまち遠しく仕事も手につかないほどで給料は約束と違つて二千円程度で其の內食費に一千五百円も差引手に入るのは僅か三四百円と言うのが事實だつた

私たち前借に泣く

證人多惠子さんは語る

私だけは工場に入つて條件の違ふので兄を呼び歸つたが働いている女工は十三―十八才まで小學校卒業者も半數に滿たない手紙を出すすこともおこられるし、風紀は紊乱していた、宿舍で不平を語つて事務室に呼び出され殴打された事實もあつた、日曜外出も許されていない、現在五十余名の女工がいるが何れも前借の奴れいとなつて泣いて明け暮れの生活を續けている、同町內郷から行つた本間ヨシ子（二四）さんが出勤前に化粧していたのを發見され革バンドで叩かれて泣ているのも認めています、えん然生き地獄の樣ですと製糸女工の悲慘な事實を訴えていた

（寫眞は事實を語る千葉多惠子さん）

―三浦洋裁試作品發表會―市內三浦洋裁學院では毎年生徒の試作品の發表會を催して來たが本年は十四、十五の兩日市公會堂日本間に於て生徒七十名の試作品を發表する、十四日は午後二時から一回、十五日は十時半二時半、六時の三回にわたつて各生徒がニユールックを參觀者に展示する

助産婦講習會

縣衛生課並びに縣助産組合主催で避地で開業している助産婦及び新しく開業した助産婦の爲に助産婦講習會を行う、濱三郡は來る廿六日午後一時から十一月十一日正午まで平市公會堂日本間において行うことになつた

賃金問題を考慮

安定局長失業狀態視察

勞働省齋藤安定局長は石城地區失業實狀視察のため十一日午後三時來平、平市役所に於て關係市町村長約二十名から現下の深刻な失業狀態の詳細を聽取、今後の對策につき種々懇談したが各關係町村長から、△現在の就勞ワクは平均月十四をかろうじて維持している狀態にあり、約一ケ月位失業保險受給資格を大半が失格する狀態にあるので少なくとも月平均十八日位の就勞線まで擴大してほしい△物價指數の高い石城地區では現平均百六十二円では生活が保てないから何とか解決して欲しい、等の要望に對し

賃金問題等は一存に行かぬが石城は全國的にも特別地域にあり重點的に考慮極力要望に應じたい、失業の深刻と日雇攻勢の盛んなせいもあろうが當地方の市町村長が失業對策問題について良く研究勉強していることには感心する

と語り後、職安植田分室及び錦町の失業對策事業國道建設の現場を視察の後歸京した

植林コンクール

縣豫選は月末に實施

石城地方事務所では縣主催の植林コンクール大會の地方審査會を今月下旬實施、參加者の植林成績を予選して縣コンクール推せんすることになつた、縣では颱風その他の被害で荒廢した山林の急速な造林對策を要望されていたので植林コンクールを各地方ごとに實施して植林の増加を圖るものでコンクールの實施方法としては個人、團体、市町村の三種類に分ち各地方別に參加者の植林成績を予選し審査の結果之を縣コンクールえ推選する、縣では地方推せん者を審査して各部門ごとに一位から十七位まで入選者を決定、縣知事賞、國土緑化縣推進委員會賞、縣農業森林組合連合會賞、縣山林種苗協同組合を表彰する、なほコンクールの審査期間は廿五年度春から秋殖までの成績をとることになつた

創作 秋の訪れ（一）

佐々木智康

K子は谷川瀬山え向つて默々と歩いていた

もう目の前に山は青々とした雜草に包れて立つている

K子はあたりを何となく見廻して人の氣の無いのを確かめるとポケットの中から一つの白い紙包を取出した―それは四角の小さな紙包である

足もとで何か虫の鳴き聲がしている

「秋がもう訪れて來たのである」

何か心に隙でも出來た樣な淋しさがうづいた

彼女の背後に青い空が美しく晴れている、市街がその下の方に夢の國でも見る樣に美しく浮んでいる

毎日煙る樣に降つた雨がやつと昨日あたりから晴れたのである、どの小川も威勢よく音立てて流れている

K子は紙包を開こうとして人の氣配いに慌てゝブラウスのポケットにねぢ込むと何氣ない風で山道を靜かに登り始めた

名も知らぬ小鳥がしきりに囀つている

雜草が茂つて見透しの効かぬ曲つた前方の道から子供たちが四、五人とりもち竿を持つて現われた

K子は子供たちのわきをすり抜ける樣に通るとぐんぐん進んだ

さつきから歩き續けているので汗ばんでいる彼女の頰を時々吹く微風が心よいのだつた

K子は暫らくして行き逢う人のないのにやや氣を落ちつかせて傍の石の上にハンケチを敷くと腰を下ろして暫らくじーツと其の儘の姿で動かずに居た

午後の陽が明るい

K子には此の紙包の中に何が入つているか――判つていた

然し今日は唯一人此の紙包の物と語り思ひきり泣きたかつたのである

「お母さん」

こらえていた涙が彼女の頰に筋を引いて流れた

磐女高の一年生であるK子は市內屈指の雜貨問屋の一人娘として何不自由ない生活の中で育つて來たのである、彼女の兩親は本當によき父であり母であつた

その二人とない筈のK子の母が、實は本當の母でなかつたのである

昨日の事であつた

誰も居ない寢室に一人寢そべり乍ら本も讀んでいたが何と云う事もなく父の本棚の下のいつも鍵のかかつている曳出しを引いて見た

鍵はかゝつていなかつた

力余つて彼女は勢よく曳出しを外してしまつた

「まあ―」

配電サービス隊

修理、事故豫防に各地え

東北配電平營業所では事業の獨專的立場から稍々もすれば半官半民視されて來たが今回民間會社として本然の姿を明らかにする爲過般來社員に對してサービス精神の徹底を圖つて來たが今度は交通不便な部落民に對して業務、工務の社員十名がトラックで移動サービスに進出する事になつた、日程は十三日（夏井方面）十七日（磐崎方面）十九日（小川方面）で電球の引替故障の早期修理、手續等の質疑應答などを行ふ

少年教育の懇談會

東北地方民事部ヘンリー・W・ブレーク氏は來る廿日來市、教育委員職員並に青少年指導員と市會議室で青少年の教育について懇談會を行ふことになつた

・・・・・・・・

第四回洋裁試作發表會は十四、五日市公會堂で行う

炭鑛野球廿二三日に

石炭事務所主催の第三回炭鑛野球大會は福島、茨木兩縣下より廿一チームの參加の元に廿二、三日の兩日開く、球場は廿二日磐高、平工、平商、市營球場、廿三日市營球場

モダン交番出現

落成式十六日に擧行

平市警察署が工費十九万五千円で驛前に新築中の警察官派出所はこの程完成したので十六日午前十時から落成式を擧行する事となつた同派出所は鈴木工務店の請負によつて建築したモダンな近代式の建坪十四坪二階建で階下は事務室と控室階上は休憩室となつている

商狀・經濟欄

【鮮魚】 十三日現在 卸値（單位貫）

かながしら	二五〇円
さんま	一八〇円
ひらめ	六〇〇圓
さつまあげ	二五〇円

市況―入荷殆ど無人氣保合

【青果市況】 丸サ市場

なす	六〇―四〇円
ねぎ	一二―八四
玉ねぎ	七〇―五〇円
ごぼう	一三〇―一〇〇円
人參	二五〇円
大根	四五―三五円
菜類（一把）	三―二円
ほうれん草（一把）	一〇―七円
にら（一把）	三円
里いも	七〇―五〇円
松茸（百匁）	一五〇―一〇〇円
さつまいも	五五―四〇円
葉しようが	一五〇―一〇〇円
やまといも	二〇〇円
みようが	一五〇円
なし（長十郎）	一〇〇―八〇円
りんご（四貫入）	一〇〇〇―六〇〇円

市況―入荷多く活潑

【株式市況】 13日前場 磐城證券

鐵銅株の外舊軍屬株が高進した外は見送られているが昨日賣られた紡績株は下値に止まつた樣である

物色買で散發高の態勢となつて來た株で實績のある會社が買はれるのは順調である

鋼管	一七五	呉羽化	―
東洋紡	三〇八	苫小牧	一六九
鐘紡	一三七	十條紙	一〇三
日清紡	三九六	本州紙	一三〇
呉羽紡	一二九	日セメ	八二
日東紡	一二三	磐城セ	一六三
片倉	六二	小野田	一三八
帝人	一六八	不動新	三二九
東洋レ	一四三	陽和不	一七二
新光レ	三四〇	開東不	一九〇
山パル	一九〇	三越	三九四
東海上	三〇〇	日麥酒	一九五
新郵船	一七〇	朝麥酒	一九六
三井船	一三八	キリン	三二五
日發	二四	寶酒造	一三〇
三井山	四六	野田醬	一八五
日石	七六	豊年油	一〇八
三井造	一六六	高壓	四八
日立	四六	日産化	三五
東北パ	三八	日活	―

小名浜港水揚

十二日現在

海上の小波が猶やまない爲めに出漁船少く随つて水揚げが少ないサンマは、勝丸（三代氏所有）光道丸（比佐庄兵士所有）の二隻が入港各々五、六千貫の水揚げである、それが爲め豫相場は非常に暴騰を示して居る、サンマは昨日迄一貫匁九十五円から一躍百六千円とはね上りさけ八百円、ひらめ七百円、いなだ三百五十円ちぼ二百五十円、あぢ四百円と云ふ飛値であるが水揚げが少量の爲め喧か腰で買入れを競ふ有樣であつた

季節の味
ウドンの加工は
是非當店へ
永鳥製粉工場
平市杉野澤
電話一〇九四番

印刷物の御註文は
迅速確實の當店え
大和田印刷所
平市中町廿三番地
電話七二九番

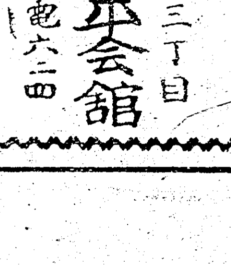
サンキュー 三九 三休さん！
サンキュー ありがとう！
（食料品 雜貨 藥品）
佐々木商店
平市鍛冶町 電話503番（呼）

良い品は良い店で
各産地の………
銘仙大奉仕
一反550円より
名古屋帯新入荷
かみや
平市2
T250

皆様の魚店
磐城名産
鰹節
塩辛
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

くすり
今日も元気で
電四〇
平四
関内薬局

冬物の御買時
格安優秀品大量に
入荷致しました！
洋服地 婦人セーター
子供服 子供ズボン
學生服 セーラー服
毛糸 ショール
ボストン 手提
洋品の
平市三丁目
やまと
電話1130番



うまい!!!
安い!!
好評のシユウマイ
中華そば
和食・洋食
三丁目
平会館
電六二四

濡れ手に粟の爆彈引揚

利權屋 七千万円の契約金 で青息と息

特需品暴騰から各事業家によつて着目された小名濱沖合海中埋沒の放棄爆彈引揚作業は各方面え幾多の話題を提供していた、時價二億円と云はれる砲金引揚げだけにこれが利權獲得に幾多の運動は展開されていたものであつたが、十月一日から向ふ一ヶ年の期限付きで三菱木殲株式會社外六社に對し許可された

ところがこの引揚作業契約に當り屯當り一万円の契約金が海上保安本部に納入することが契約條項にうたつてあり前記七社のひき揚許可數量は小名濱だけで計七千四百四十屯となつて居りその契約金七千四百四十万円の莫大な金額となるので寶の山を當てこむ利權屋連も頭痛の種となつて居りことによつては權利の放棄する者が現れるのではあるまいかと見られている

右について小名濱海上保安部では

爆彈引揚契約金は業者から政府え納入するものでこれが取扱いに付ては正式な通知に接していないので詳細なことは申しかねる

と語つて居り、新興産業二億円の寶探しにも幾多の惱みに逢着した譯だ

國庫補助に陳情

町營失業救濟事業を

今回施行することになつた小名濱町立第二中學校敷地々均し問題に就て失業救濟事業にふり向けることになつたが果して國庫補助の對照となるかどうか、町議會には議論の中心となつているが既に四倉、好間、内郷等に實例があると云われているため建築委員會では協議の結果小野委員長が馬上町課長と共に縣當局に陳情することになつた

健康勤勞者大會え

縣代表日素から出場

模範健康勤勞者縣代表の選出については書類審査の結果廿四名を選び更に十一日福島保健所で男女各六名宛選拔、縣代表として來る十一月廿三日の勤勞感謝の日に擧行される中央大會に出場することになつた、石城郡下からは日本水素小名濱工場會田義弘(三五)同新妻利惣太(五四)同女子事務員大桃近子(三五)の三氏が晴れの縣代表として選ばれた

縣代表の三氏

會田義弘(三五)さん　日本水素小名濱工場、運動は何でも万能選手、子供一人の三人の家族で醫者には一度もかゝつたことがない

新妻利惣太(五四)さん　日本水素小名濱工場、男女三人づゝ六人の子福者、中學時代テニスと柔道を少しやつただけ、健康は時間的生活からと規律正しい生活を營んでいる

大桃近子(三五)さん　日本水素小名濱工場、現在はバレーを、生花を八年、謠曲一年と云う古典的な趣味の持主で健康に滿ちた精勤者である

赤い羽根廿日頃目標突破か

平市に於ける十一日現在の共同募金成積は街頭募金が十三万九千三百十八円、戸別募金が十一日に長橋町が割當から四千円上廻る一万八百五十円、鍛冶町は一千四百円上廻る六千九百円、鎌田町六千一百円の割當額完遂して總額九万四千九百十二円となり街頭、戸別を合せて廿三万四千二百卅円と目標額に對して七十%の成積の納めて廿日前後には市の割當目標額を突破する見込となつている、なお郡下にあつては泉、植田地區に次いで十日磐崎村が五万八千五百円の割當に對し五万八千九百円の募金成積をみせた

小名浜通信

小名濱町第二中學校の建築が決定するとこの直前朝鮮事變で物價が上昇を示して來た時であるので、屋根瓦が其の暴騰を豫想されるので何とか暴騰前の價格で取引を進めて見たいと云う、愛町の精神から建築仕樣書に基いてセメント瓦の製造所四ツ倉町萬年瓦工業所を尋ねた、時は十月十一日午前十時、同行者町加美山技術者であるが、加美山君の照會で專務長谷川嘉平氏に面會した、長谷川專務は筆者を眺めて古き感想から語り出した、大正十二年頃貴町の講堂が建設された時弊社の萬年瓦が其の選に當つて納入した時に御世話になつた事が忘れられない印象の深きものがありますと語つた、追懷せば古いものだ大正十年六月町議となつた時校舍二棟と講堂一棟を建設し町議の新舞者であつたが、建設委員として立會い万年瓦の檢收をやつた事を想起した、爾來三十年以還當時全國を股にかけて行脚を續けたお伽の先生久留島武彥氏が建築の巧妙な出來榮えを賞讃された事を記憶から呼び起すと共に三十年只の一度でも雨もりのために修繕を加えた事を聞かないと云う堅牢なので出來の優良品であつた事を保證し得るものである事が歷然と腦裏に浮んで來た、その時の專務長谷川氏が海千山千の經驗を積んで今猶會社の瘦せ起しを一身に引受けて努力して居ると云う事から見て、其の談話は遂に佳境に這入り時の移るのが忘れた程である、殊に万年瓦としての品質に對しては三十有余年の職歷を有して外交辭令は掛引を拔きにストック品有無、生産工程の出來ると否とを判然として聊かの引語をもちいない、其の談話に贅語なく、曖昧ない負けろ引けろの無駄がない唯聞き樣によつては出來ないが一点張りの樣であるから、万年瓦製造の看板を外す方がよいでないかと冗談を語りたい程である、そして結論がひき受けたなれば期日を一刻も違えないのが長谷川氏のモットーであると結んで居る、三十年以來別に會談の機會もなく會つて見て親しみの多い長谷川氏とは矢張り己を知るものゝために死す事を云う知己たるを喜び註文を濟まして辭去したのは午後二時であつた

消防署の機構見學

防火週間に婦人會で

平第二婦人會と飯野の各婦人會約五十名は十二日午後一時から市消防署を訪れて「市を火災から護る消防署はどんなところか」と同署の諸設備、機構など見學終つて鈴木司令の說明を受け市內三十米道路上に於ける署員の敏活な消火實技を熱心に見學の後井上署長から防火に對する心得の聞いた

一不振の供麥に躍氣一

平市役所では本日午後一時から各方部の班長會議を開き供麥促進運動の徹底を圖る

通信技術競技會え

電氣通信技術競技會東北大會縣豫選は來る十九日福島市で行う、平電通管理所からは同電話局電通技官齋藤金之助氏外七名が參加する競技種目は△市內電話線路及び宅內裝置建設工事△市內電話ケーブル接續△市外電話ケーブル接續の三種目

菜種四倍增産え

土地の利用度を高めて

石城地方事務所では廿六年度産菜種の增産を圖るため管內町村の作付面積を本年度より四倍の四千七百六十六反(田四千三百六十八、畑三百九十八反)に飛躍的增反をなし菜種の大增産を圖り食生活の改善と土地の利用度を高めて農家經濟の安定合理化を期することになつた、生産者に對し菜種增産の重要性を周知せしめるべく目下具体案をつくつている、然し四倍增反に對しては種の運播その他の關係から心配されている

文化祭一中で

第一中學校では來る廿七日から三日間文化祭を行う、廿七日は生徒の演劇を在校生が見學する、廿八、廿九日は生徒の演劇披露及び繪畫、寫眞、習字等生徒の作品の展覽會を開く

小名濱町議一行十四日歸る

名古屋市で開催された港灣協會え出席した小名濱港務所濱田所長、同町々會議員小野作太郞氏外十名の一行は十四日歸町する

〃〃〃〃〃〃〃 內鄕高校運動會 〃〃〃〃〃〃〃

縣立內鄕高等學校秋季運動會は來る十五日同校々庭に開催する、雨天の際は延期される

小川村傷害犯

石城郡赤井村大字西小川農加藤弘重(三〇)は十一日午後二時半ころ傷害容疑で平地區署に逮捕された、同人は去月二十二日午後十一時ころ同村農西山幸助(三八)居宅に理由なく侵入同人の右下顎部を突き上げ全治十日間の傷害を與えた疑いによるもの

八幡神社例祭

小名浜町で

小名濱町大字住吉部落では縣社住吉神社と小社八幡神社とが鎭坐する住吉明神と八幡神社とは春秋の二回例祭を執行するが秋祭が八幡神社が主となつた祭事であるので能く八幡神社につきものである、やぶさめと云う神事がある、この八幡神社は他の八神社と違つて宵祭りを執行し其の行事が變つて居る、先づ先頭に磐城判官に擬した稚兒が昔日の裝束をつけた姿を馬上に見る、之れに續いて武裝の騎馬が威勢堂々と後に着く、其の勇壯な武者姿は稚兒相擁して昔日を忍ぶに尤もふさはしいかくて海岸に乘り出し掛聲勇ましく神社境內にひき上げ本祭に入るのであるが住吉神社は住吉遍照院主の祭事を司り遍照院は磐城判官平政氏の祈願寺として有名な由緒あるを以て一千年前からの遺風が今猶繼續して祭事を執行する事と云う珍らしき祭事とされて居るので賓者雲の如く人出を見るに至るものとして噂をうんで居る

林道豫定地を視察

平市議會(農務)、(土木)の兩委員は十四日午後一時より舊飯野、神谷兩地區に開設する事となつた林道豫定地の現地視察を行う事となつた

赤い羽根募金

昨十二日の赤い羽根募金は三千七百四十二円十錢で現在迄の街頭募金總額は二十四万三千三百七十七円九十八錢である

戸籍録

出生　五日平市紺屋町柏原信一氏二男立夫さん△十九日同鎌田町岩本明茂氏三男誠さん△廿三日好間村大字小谷作大河原茂美氏長男泰雄さん△三日平市四丁目湯田廣氏孝一さん△小名濱下町七五箱崎末松氏二男伸さん△小名濱町字定西三十二森山喜祐氏三女惠子さん

婚姻　江名町大字中ノ作吉田トミヨ(三二)さん東京都台東區坂本二ノ八森久(二七)氏

今日の天氣

十三日晩は北寄りの風上天氣です、十四日は北西の風秋晴れの良い天氣でせう、十五日は北寄りの風割合い薄雲の多い天氣でせう、海上はおだやかですが沖合いは風波がありますから御注意下さい

ラジオ

…(十三日)…

前7時15分　あぜみち通信(11)=麥播種に先立つて=縣立農事試驗場技師菅野正

前10時10分　學校放送=全學年の時間=田村郡山根村小學校

後3時　箏曲=秋のひゞき=長野武他

後6時30分　放送劇=夕月=郡山放送劇團

拾い讀み

平市に住むようになつてから丸二年になるが驚いたのは「お妾さん」の多いことだ少しばかり金があつたり顏が利いたりするのは大概二号さんが居る、それがヤヤもすれば貫錄として重きをなしている風がある、やれ女性の解放だ、尊重だと八釜しく叫ばれている今日あまり香ばしくないことだ、それに不思議なことは只でさえ暮し憎い此の世に堂々たる妾宅を構え愛慾生活を營んでいられるという事である、聞くところに依れば市財政は火の車だというが一つこんな人達よりタンマリ取り立てたら如何ですか妾稅が氣に喰はぬなら「祐福稅」はどうか―必らず相當な財源となること請合である「妾稅」「祐福稅」の課稅は單に市の財源となるばかりでなく「妾」という外聞の惡いぜいたく品を追放し最近目立つてきた勤勞を嫌つて「樂」し乍ら生きようとする女性の考えを追放したらそれこそ一石二鳥ならぬ一石數鳥の名案であると考えるので是非共市當局の御一考を煩はし度いと思う

八幡小路　「庶二無二」

△投書は歡迎致します、然し住所姓名を記入願えます、紙上匿名も可

14日―16日迄
(上映中)
砂漠のオアシスそれはキャラバンの明日への希望である
名画新版
キャラバン　英國映画
監督　アーサー、クラブウター
スチュアートグレンジャー主演
ジイーンケントアンクロフオード、共演
平文化

きつとお氣に召す!
當店獨特のドライクリーニング
完全消毒・高級洗劑使用　お急ぎの品は超スピードで
合名會社　白榮舍ランドリー
平市田町　電話661番

本場 ── 牛豚肉 ── 自慢
第一綠屋　電539
第二綠屋　電794
配達迅速

空然にして絶後二度と再び見られぬ　獰猛人喰ワニの群
日本動物園來る
南米アマゾン河の秘境に永年せい息して幾多の尊い犠牲者を出さしめた年令三十才体重四十八貫身長四米の巨体を持つ人喰大鰐三頭を始め熱帶寒帶の諸動物大擧來平す
入場料　大人三十円　小人二十円
場所　平市平病院横　三十米道路ワキ
日時　十四日より廿二日まで
主催　日本動物園
後援　磐城毎日新聞社

皮膚科
性病科
內科
矢吹醫院
平市縣社下
電話　一一九三　一二九五番

大衆食堂
汽車の御待合せ
御買物の御歸りに
御氣輕に御利用下さい
そろそろ熱カンの季節です。左黨の方は御座敷風食堂で一杯いかが!!
さかえ
平驛前東角

麻雀
開店
ゼヒ一度お遊びにお出下さい
平市銀座通り
電九六九番
ぎおん莊